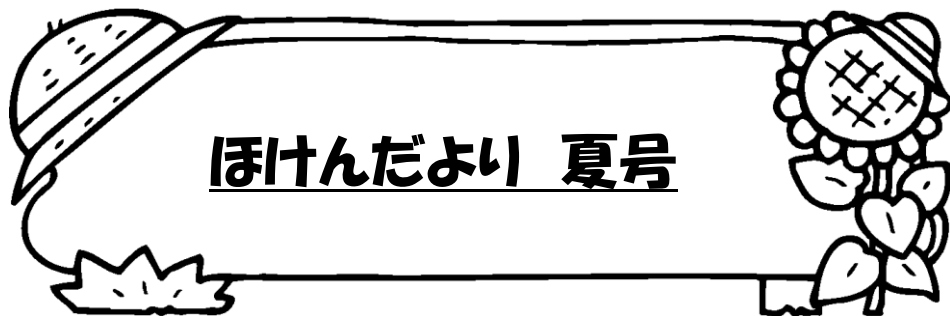




令和7年8月1日
社会福祉法人えどがわ
西小岩おひさま保育園

今年の夏は去年と比べてさらに猛暑となり、8月もまだまだ
厳しい暑さが続きますね。

保育園ではプールや水遊びをする際には帽子を被り、一人
ひとりの体調をよく見て日陰に誘ったり、水分補給を行った
りと熱中症予防を心掛けていくとともに、気温に合わせた
衣服の調節も行っています。暑さ対策を万全にしながら、健康
状態をよく把握し熱中症や感染症に気を付けていきましょ
う。

～熱中症予防の3つのポイント～

☆日差しを避ける

長時間の外遊びは避けましょう。特に、13～15時の戸遊びは
できるだけ避けましょう。

☆水分補給

水よりもミネラル分のあるイオン飲料、お茶等を用意してこまめ
に飲み、汗で失った水分とミネラルを補給しましょう。



☆体調・服装チェック

外出前にお子様の様子がいつもと少し違うと
感じたら無理をせず、休息をとるようにしま
しょう。服装は、風通しが良く汗を吸収するもの
にし、必ず帽子を被りましょう。

～気をつけよう！夏の感染症～

◎手足口病・・・指・手の平・足の裏・唇や頬内側・舌などに白い水泡の発疹が
見られ、熱はあまり高くなることはありません。
飛沫感染する病気です。便から感染することもあります。

◎プール熱（咽頭結膜熱）・・・39度前後の高熱が出ます。のどの痛み咳・目
やにや充血があります。飛沫感染する病気です。

◎ヘルパンギーナ・・・乳幼児期の間で流行する夏風邪の一種です。39度前後
の熱が2・3日続き、のどの奥に小さな水泡ができる為
食欲が落ち、嘔吐することもあります。飛沫感染する病気
です。

◎とびひ・・・虫さされやすり傷に菌が入り、感染する皮膚病です。
膿をもった水泡ができ、つぶれてジュクジュクになり、その部分
を触った手で身体他の部分をかくと次々に広がってしま
います。また、接触すると他の人にもうつります。

◎溶連菌・・・38度以上の高熱が出たり喉の痛みがあります。また、全身の
発疹、下の赤みやブツブツ、首のリンパの腫れ、嘔吐などの症状が
あります。咳や鼻水が出ないのが特徴です。

※感染症対策として小まめにうがい手洗いをし、
感染予防に努めていきましょう。

※園では感染症によって登園許可書が必要な場合があります。

